



三島村立 三島硫黄島学園

児童生徒数 28 人
学級数 6 クラス



《テーマ》

子どもの人権意識を高めるための大人の人権意識改革

研究に当たって（テーマ設定の理由）	研究の実際
令和5年4月に、こども家庭庁が創設され、こども基本法が施行された。全ての子どもの権利が守られ、自分らしく幸せに成長できるよう、支えていく側の大人の理解と意識改革が早急に求められると感じた。子どもを見る視点や子どもへの声かけなどを共通理解し、子どもが自分らしく、可能性を広げられるよう、今回のテーマを設定した。	4月10日(月)～…いじめ問題を考える週間 4月21日(金) …アンケート実施 5月24日(水) …職員研修（講師） 7月19日(水) …家庭教育学級（講師） 11月29日(水) …人権教室（講師） 12月1日(金)～…人権週間 12月4日(月) …心の教育の日（道徳） 3月（予定） …アンケート実施（4月との比較）

特色ある取組（他校にもおすすめの取組）

□ 家庭教育学級の実施（保護者・教職員対象）

県教育庁人権同和教育課の指導主事を招き、「子どもの人権」「こども基本法」についての理解を深めるとともに、教職員の基本姿勢M o mの大切さや児童生徒への声かけの手法を学んだ。



【家庭教育学級】

□ 前向きな言葉かけ、プラスの言動の共有（教職員）

職朝や生徒指導情報交換会等で共通理解を図った。

□ 職員研修の充実

今年度は「子どもの自己肯定感を高めるためには」を研修テーマとし、教職員間で意見交換、研修会等の資料の共有を行い、それを基に授業の構築を行った。



【心の教育の日】

□ 心の教育の日（道徳科の授業）の実施

前期課程・後期課程それぞれに分かれ、児童生徒の自己肯定感を高めるために、授業でリフレーミングを実施した。

子どもの人権プロジェクト推進校の取組の成果と課題（子どもの変容、よかったこと、今後やってみたいこと）

- 1～9年生までの異年齢集団の中で、子ども同士は互いに理解し合う素地が養われており、それを土台として人権学習や道徳科の授業等を通して自己理解や他者理解が深まった。
- 4月に行ったアンケートと比較するために、12月に再度アンケートを行った。「自分らしさを発揮できているか」という質問に対して「できている」と答えた生徒が48%から50%、「先生たちは話をよく聞いてくれるか」に関しては「よく聞いてくれる」と答えた生徒が80%から78%、また、「あまり聞いてくれない」と答えた生徒がいるなどが課題となった。子どもの人権意識を育てるための教員側の姿勢や意識を更に高めていきたい。